



2026年1月25日

森と海の自然科「森と海の自然科・第30回山歩きを楽しむ会」

近鉄生駒駅から生駒山を超えて十三峠までの縦走記録

日 時 2026年1月20日(火) **天 候** 大寒の曇り空でした
集 合 近鉄生駒駅 10時 10時20分発のケーブルに乗車
参加者 9名(風も強く寒い日でしたが、9名もの参加がありました。)
行 程 生駒駅～生駒山上駅・遊園地内・暗峠展望地・暗峠(休憩)・ぼくらの広場(昼食・トイレ)・鳴川峠・東大阪阿外活動センター・鐘の鳴る丘展望台(休憩)・十三峠(休憩・トイレ)・水呑地藏(休憩)・伴林光平の碑・玉祖神社・近鉄服部駅(解散)

行程距離 約10km 歩行数は28431歩でした。(家を出てから帰宅するまでの歩数)

地 図 省略

概 要 近鉄生駒駅に着いたのは私が最後でした。10時集合でしたが、電車の遅れがあり10時を少し過ぎたいました。平日でしかも大寒の日でしたが、ケーブルカー乗り場には結構ハイカーがいたのには驚きました。しかし、山上駅まで行ったのは我々のグループぐらいでした。トイレを済ませて、園地内を歩きます。昭和4年にできた飛行塔は日本最古の大型アトラクションです。生駒山頂の三角点を見て道を進みました。道を間違え少し時間のロスをとりましたが、その後はほぼ計画した時間内で近鉄服部川駅に着くことができました。少々残念だったのは、玉祖神社参拝時間が少ししか取れなかった。しかし、参加者の皆様方全員怪我もなく無事に駅に到着できたのでよかったです。本日は本当にお疲れさ



ケーブルカー乗り場

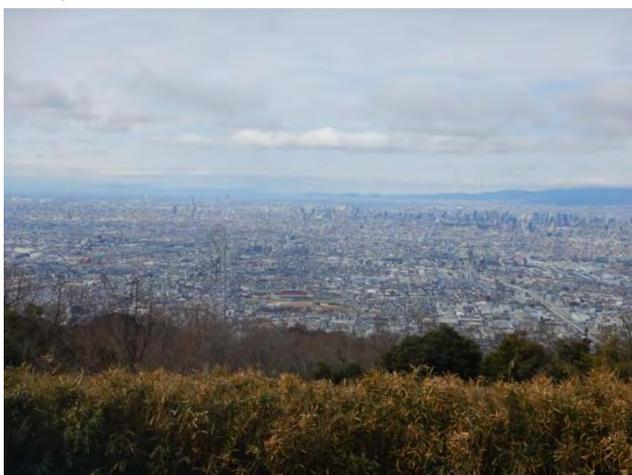


ケーブルカー内で



遊園地は休園しています

遊園地内を超えて生駒山縦走路歩きが始まりました。ゴロゴロとした岩の道を下り切ると車道に出ました。車道の広場からは大阪平野・六甲山・奈良盆地・淡路島等々が見える展望地で展望を楽しみました。



大阪平野の大展望



暗峠で記念写真を撮りました

展望地から道を進むこと30分ほどで、以前森海例会で来たことのある暗峠に着きました。ここには有名な茶店があるのですが、生憎今日はお休みでした。少し休憩をとり前進しました。ここから「僕らの広場」までは登り道です。いままで下り道を歩いていたので、緩やかな坂ですが登り道は本当に疲れます。

やっとのことで「僕らの広場」に着きました。トイレを探すため少し東屋で待ってもらった。トイレの確認後、ここで昼食を摂りました。本日は寒いめかハイカーが少ないです。



神応寺堀沿いの道を進む



歩いていると三峰山山頂の標識が



鳴川峠に到着

鳴川峠から十三峠までの道のりは長く、途中にはアップダウンの道が続きます。しかし、全体的には下りが多く膝に負担がかかります。神応寺への標識がありました、立ち寄りませんでしたので、去年の暮れに行った時の写真を載せておきます。お寺は真言宗・後醍醐派で、山門が立派でした。



八大龍王神応寺山門

またこの生駒山縦走路にはシロダモやアオキの樹木が多い。



シロダモの実



アオキの実

やっとのことで「鐘が鳴る丘」に着きました。休憩後更に進むと2つ目の山頂に出会いました。三国山と書いた標識がありました、目立ちませんね。十三峠に着きトイレ休憩をと



因又たなの三国山山頂

りました。ここにもシロダモの樹木がたくさんありました。十三峠を出発して水呑地藏まで進みました。ここからの下りは急降下です



鐘が鳴る丘で歩いてきた道を振り返る

膝の痛みをこらえながらゆっくりとしたペースで降りて行きました。玉祖神社（たまのおや）でゆっくりと休憩するつもりでしたが、日も暮れかかり始めたので、近鉄服部駅へと急ぎました。

玉祖神社等々については去年私が単独で行った時の記録文を載せておきます。

← 水呑地藏のお寺

次回の2月17日は播磨の名峰高御位山です。 文責・壺三



玉祖神社・長鳴鶏・伴林光平について（追記）「



大阪府の天然記念物であるクスノキ

八尾市の玉祖神社（たまのおや）は山口県にある玉祖神社から分霊されたものだそうです。和銅3年（710）に創建された由緒ある神社です。

境内の一角には鶏小屋があり長鳴鶏が飼われています。高天原で鳴いた鶏だそうです。

玉祖神社には天然記念物になるだけのクスノキの大木があります。クスノキの大木で有名なのが鹿児島始良市にある蒲生八幡神社の「蒲生の大クス」です。クスノキは大木になりやすいのでしょうか、私のふるさと香川県東さぬき市松原にある白鳥神社にも大きなクスノキはあります。



玉祖神社

この鶏は山口の玉祖神社にいる黒和鶏の子孫だそうです。常世の鶏と言われている。

また、神社の前に伴林光平の忠魂の碑があります。藤井寺の国学者であった伴林光平は1863年8月に起こった天誅組の変にいち早く五條に駆けつけ天誅組の記録方を受け持った。

天誅組の挙兵失敗を受け法隆寺から磐船街道から大阪に向かう途中捕縛され翌年の2月に京都で斬首された。1891年9月靖国神社に合祀され12月に従4位追贈を受けた人物です。



常世の鶏（長鳴鶏小屋と説明版）

伴林 光平 忠魂碑 →

